

令和5年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和5年8月8日

上場会社名 新日本製薬株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4931 URL https://corporate.shinnihonseiyaku.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 後藤 孝洋
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理本部長 (氏名) 小野 哲矢 (TEL) 092(720)5800
 四半期報告書提出予定日 令和5年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家・アナリスト向け)
 (百万円未満切捨て)

1. 令和5年9月期第3四半期の連結業績(令和4年10月1日~令和5年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
5年9月期第3四半期	27,872	2.8	2,838	2.5	2,813	2.0	1,836	△1.4
4年9月期第3四半期	27,121	7.2	2,769	15.4	2,759	14.0	1,862	14.6

(注) 包括利益 5年9月期第3四半期 1,835百万円(△1.3%) 4年9月期第3四半期 1,859百万円(14.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
5年9月期第3四半期	85.43	85.00
4年9月期第3四半期	86.86	86.22

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
5年9月期第3四半期	23,501	19,086	80.6
4年9月期	23,857	17,918	74.4

(参考) 自己資本 5年9月期第3四半期 18,939百万円 4年9月期 17,741百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
4年9月期	—	0.00	—	33.00	33.00
5年9月期	—	0.00	—		
5年9月期(予想)				33.00	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和5年9月期の連結業績予想(令和4年10月1日~令和5年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,000	5.2	3,560	1.1	3,471	△0.5	2,380	1.0	110.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	5年9月期3Q	21,855,200株	4年9月期	21,855,200株
② 期末自己株式数	5年9月期3Q	343,110株	4年9月期	389,909株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	5年9月期3Q	21,496,681株	4年9月期3Q	21,440,203株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

当社グループは、令和5年8月8日(火)に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会をオンライン配信する予定です。この説明会で使用する決算補足説明資料は、TDnetで本日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行やインバウンド需要の回復等、経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復傾向にあります。一方で、世界的な資源価格の上昇や為替変動による物価上昇などにより、依然として先行きは不透明な状況にあります。

このような市場環境のもと、当社グループは中期経営計画「VISION2025」に基づき重点課題に取り組みました。

通信販売において、化粧品ではパーフェクトワン オールインワン美容液ジェルシリーズを中心に、LTVを重視した広告投資を重点的にを行い、成長の基盤となる定期顧客づくりを推進しました。また、「落とす・満たす・魅せる」の3ステップスキンケアを軸とした複数商品の提案に継続して取り組んだことで、複数商品顧客比率及び定期顧客の購入単価は引き続き上昇しています。また、「PERFECT ONE FOCUS (パーフェクトワンフォーカス)」では10代~20代に人気のキャラクターを起用した限定デザインパッケージの発売やVTuberとのコラボレーション施策等に取り組んだ結果、ECモールを中心に売上高が伸長し、期初計画を大幅に超過しています。ヘルスケアでは、機能性表示食品「Wの健康青汁」の広告投資効率が良化し、ECでの新規顧客の獲得がさらに伸長した結果、売上高の拡大をけん引しています。

直営店舗販売・卸売販売においては、人流の回復や実店舗への回帰が進み、インバウンド需要が拡大する中、当第3四半期より新たな顧客層の獲得を目的に「PERFECT ONE (パーフェクトワン)」のドラッグストア展開を本格的に開始しました。大手ドラッグストアを中心に現在約500店舗展開しており、今後も更なる店舗数拡大を計画しています。

海外販売においては、中国では当第3四半期より本格始動を計画しておりましたが、立ち上げが遅れております。今後、中国及び台湾を中心としたアジア・ASEAN戦略から、米国進出を契機にグローバル戦略にシフトし、成長機会とカントリーリスクを見極めながら海外事業の拡大を図ってまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は27,872百万円(前年同期比2.8%増)、営業利益は2,838百万円(前年同期比2.5%増)、経常利益は2,813百万円(前年同期比2.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,836百万円(前年同期比1.4%減)となりました。

なお、当社グループの事業セグメントは化粧品、ヘルスケアに関わる商品の通信販売、直営店舗販売・卸売販売及び海外販売であります。直営店舗販売・卸売販売及び海外販売の全セグメントに占める割合が僅少であり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメントごとの記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて、356百万円減少して23,501百万円となりました。これは主に、商品が476百万円増加した一方で、現金及び預金が643百万円、投資その他の資産が180百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて、1,524百万円減少して4,414百万円となりました。これは主に、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)が1,348百万円、未払法人税等が159百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて、1,167百万円増加して19,086百万円となりました。これは主に、利益剰余金が1,128百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和5年9月期の連結業績予想につきましては、令和4年11月11日付「令和4年9月期決算短信」で公表いたしました連結業績予想数値から変更はありません。

なお、業績見通し等の将来に関する記述は、当社が当該資料の発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和4年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (令和5年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,351	13,708
売掛金	2,862	3,026
商品	1,565	2,042
その他	526	547
貸倒引当金	△42	△44
流動資産合計	19,265	19,279
固定資産		
有形固定資産	2,050	1,998
無形固定資産		
のれん	923	844
その他	568	509
無形固定資産合計	1,492	1,354
投資その他の資産	1,049	868
固定資産合計	4,592	4,221
資産合計	23,857	23,501

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和4年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (令和5年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	553	654
1年内返済予定の長期借入金	396	190
未払金	1,814	1,890
未払法人税等	500	341
賞与引当金	201	89
その他	509	421
流動負債合計	3,975	3,588
固定負債		
長期借入金	1,443	301
退職給付に係る負債	182	192
その他	337	333
固定負債合計	1,963	826
負債合計	5,938	4,414
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,158	4,158
資本剰余金	4,121	4,104
利益剰余金	10,199	11,327
自己株式	△735	△647
株主資本合計	17,744	18,943
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	△3	△3
その他の包括利益累計額合計	△3	△3
新株予約権	177	147
純資産合計	17,918	19,086
負債純資産合計	23,857	23,501

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和3年10月1日 至 令和4年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和4年10月1日 至 令和5年6月30日)
売上高	27,121	27,872
売上原価	4,914	5,290
売上総利益	22,207	22,581
販売費及び一般管理費	19,437	19,743
営業利益	2,769	2,838
営業外収益		
受取配当金	1	1
受取賃貸料	8	9
固定資産売却益	11	6
その他	8	9
営業外収益合計	30	26
営業外費用		
支払利息	4	2
為替差損	5	3
投資有価証券評価損	16	27
固定資産除却損	15	18
その他	0	0
営業外費用合計	41	51
経常利益	2,759	2,813
特別利益		
投資損失引当金戻入額	—	0
新株予約権戻入益	0	—
特別利益合計	0	0
特別損失		
投資有価証券評価損	—	98
投資損失引当金繰入額	16	—
特別損失合計	16	98
税金等調整前四半期純利益	2,743	2,716
法人税、住民税及び事業税	745	825
法人税等調整額	136	54
法人税等合計	881	880
四半期純利益	1,862	1,836
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,862	1,836

四半期連結包括利益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和3年10月1日 至 令和4年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和4年10月1日 至 令和5年6月30日)
四半期純利益	1,862	1,836
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	△3	△0
その他の包括利益合計	△3	△0
四半期包括利益	1,859	1,835
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,859	1,835

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループの事業セグメントは化粧品、ヘルスケアに関わる商品の通信販売、直営店舗販売・卸売販売及び海外販売であります。直営店舗販売・卸売販売及び海外販売の全セグメントに占める割合が僅少であり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメントごとの記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(子会社の設立)

当社は、令和5年6月15日開催の取締役会において、海外子会社を設立することを決議し、以下のとおり令和5年7月5日に設立いたしました。

1. 設立の目的

当社は平成28年に台湾で通信販売を開始して以降、中国やASEANへと展開を拡げてまいりました。中期経営計画「VISION2025」では、海外展開の加速を重点課題と位置づけ、「パーフェクトワン」をグローバルブランドへ成長させることをめざし、事業拡大に取り組んでおります。

このたび、その実現に向けた取り組みとして、世界最大の化粧品市場であるアメリカ合衆国での本格的な事業展開を開始するにあたり、当該地域における営業活動を主目的とした新会社を設立することといたしました。

2. 子会社の概要

- | | |
|-----------|----------------------------|
| (1) 商号 | : PERFECT ONE US Co., Ltd. |
| (2) 所在地 | : 米国 デラウェア州 |
| (3) 代表者 | : 福原 光佳 |
| (4) 事業内容 | : 化粧品等の販売 |
| (5) 資本金 | : 約214万USD |
| (6) 設立年月日 | : 令和5年7月5日 |
| (7) 出資比率 | : 当社100% |